

履修人数制限科目について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2019年4月10日）

今年度から入学し、本日、木曜3限の論理学1より従来は人数制限無しのところ、希望者多数の為に制限を設けるとの連絡がありました。

人数が多くなってしまい制限がかかる事は仕方ない事だと思います。

しかし、人社系には履修制限科目が多く、私自身取りたい科目(楽だと思ったものも含まれます。)を受講申請しましたが全て落選となりました。その為、そこそこ興味のある論理学1を申請しましたが、上記の通りこちらにも制限がかかるようです。

履修制限科目は無作為抽選とのことですので、人によっては2、3コマ分当選しているにも関わらず、1コマ分も当選しなかった私の様な人もいるでしょう。

そんなこんなで、履修制限がなく、面白そうな科目を見つけたと思ってもまた履修制限が突然かけられて、今後の単位の取り方に不安を覚えます。

現行の制度では、ILAS セミナーに比べて不公平の生じる割合が高いかと思います。

そこで本題なのですが、履修制限科目にも ilas セミナーのように履修希望順位を定めて、受講申請できるようにしていただけないでしょうか。

所謂、楽単に人気が集まるかもしれませんが、それは現行の制度においても散々見受けられるので問題はないかと思います。

自分の興味のある科目をしっかりと取れるのは、やはりモチベーションが違いますので、是非ご検討頂けたら幸いです。

【ご意見・ご要望】（投稿日：2019年4月11日）

木曜日の3限の一回生が取得可能な人社群は軒並み抽選するとの連絡が入っていたようです。

そして本日も金曜4限の精神分析学も抽選の可能性があるとのことでした。

ここまで抽選ばかりになると、一回前期における人社科目の単位取得ができなくなってしまう場合が出てしまうと考えられます。

また、本日、木曜三限の抽選に行ってみたところ、大方、抽選で外れた、もしくは一個しか抽選が受からなかったために本日の抽選に来た人が多いようです。

毎度毎度このような状況で抽選が行われるとしたら、たとえ期毎に1コマ人社群の科目を取得したとしても、(仮に人社群が10単位必要とします。)3年の前期で漸くといったところですね。

無作為抽選だそうですので、運が悪ければ単位が取得できない場合も出るだろうし、テストを失敗してしまっただけで単位を落としてしまった場合、必然的に留年してしまう場合がでてく

るのではないのでしょうか。

その上、学年が上がっていくと、専門科目や実習等で自由に授業に出る時間がどんどん減っていき、さして興味のない授業に単位を取るというただそれだけのため出席せざるを得ないような状況が生じるかと思えます。

少し話が違いますが、私自身、これからどれくらい人社群をとることができるのか見通しが立たないために、もうなりふり構わず人社群の授業をとる以外の選択肢がない状況です。わざわざ学問をしに、入試を受けて大学生活を初めてすぐにこの仕打ちは中々強烈だ、と思っております。履修に関してはガイダンスの通り我々学生に一任しているようですが、このように単位取得に関して問題が発生するのは私の落ち度でしょうか。特にモチベーションのない授業ばかりを淡々と受け、単位を取っていけというのでしょうか。そもそも現地抽選となってしまう、授業をとれるかすらわからない状況が頻発している中で、これからの大学生活について良い展望が得られるのでしょうか。

正直、やる気がなくなる位に酷いです。

このような状況を減らすために、以下のような救済措置を早急に講じていただけたらと思えます。

1. 科目の担当教員の負担が増えるとは思いますが、人気のある科目を live 授業として他教室でも入学式のように放送する。
2. 現時点で人数制限が埋まっている科目で、教室定員に満たない科目の人数制限を緩和する。

この程度しか私では挙げることはできませんが、まだまだ案があるかと思えます。

長い上にまとまりのない文章で失礼しました。私の友人にも人数制限ではじかれて人社群が全然とれていない学生がポツポツいます。マイノリティを排斥するような大学ではないと信じて、再び投稿させていただきました。

何卒、早急の対応よろしく願いいたします。

【回答】（回答日：2019年6月24日）

（国際高等教育院事務部）

ご意見ありがとうございました。

今年度前期の履修登録状況を検証した結果、今年度、抽選を実施して定員を満了した履修人数制限科目については、履修登録期間を経て空き定員が生じて先着順申込を受け付けることができるようになるまで2週間が経過してしまうことが課題と認識しています。より早期に空き定員を把握して先着順申込を受け付けられるように、来年度に向けて検討を進めています。